

山口県地域景観ワークショップ通信 第 12 版 演大会



岩国市景観ワークショップ 【第3回】

関東地方では早々と桜の開花の報告があり、にぎわっている様子が報道されていますが、ここ岩国は開花にはあと少しというところで、当日も雨で少し肌寒さを感じるくらいの天候でした。



開会のあいさつをする
都市計画課 木村課長さん



岩国市都市計画課 木村課長さんあいさつ

あいにくの雨の中、第3回岩国景観ワークショップにご参加いただきありがとうございました。

今回は第1回、第2回とやってきたことを更に充実させ、グレードアップさせて頂きたいと思えます。

平成20年度以降は皆さんと一緒に収集した景観資源をもとに景観行政に取り組んでいき、将来的には岩国市景観ビジョンを策定し、景観計画まで取り組んでいきたいと考えております。

1つ1つの積み重ねが、そこに繋がっていくと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

県のご協力も得ながら、市としても率先して景観行政に取り組んでいきたいと思っております。

| | ワークショップの内容 |
|-------|---|
| 開催日 | 平成 20 年 3 月 30 日 13 時 30 分 ~ |
| 場 所 | 岩国市役所 2 階委員会室 |
| 参加人数 | 27 人 |
| プログラム | 1 . 開会あいさつ 2 . グループ自己紹介 3 . 前回の振り返り 4 . 歳時記の振り返り 5 . 景観特徴分析 6 . 発表準備作業 7 . グループ発表 8 . まとめ 9 . お知らせと閉会あいさつ |

今回のワークショップの目的と作業の流れ

【目的】

前回のワークショップにおいて、グループごとに景観歳時記作りをしました。それをもとに出てきた景観資源がどのような特徴を持っているのか、岩国市らしい景観とは何かを分析しました。その際に、景観資源の傾向を確認するために『五つの軸』を使用しました。

【作業概要】

準備したもの

- ・ 壁新聞、景観歳時記（景観資源を思い出すのに使いました）
- ・ 景観ポストイット（第2回のWSで使った景観資源の写真や気付きの付箋）...同じものを5セット
- ・ パターン図 5つの軸を描いた模造紙

1 歳時記の振り返り

グループごとに、前回作成した歳時記に整理された景観資源を確認しました。それぞれどんな景観なのか皆で確かめました。

2 『5つの軸』による景観資源分析

景観資源の傾向を確認するための『5つの軸』を用いて、それぞれのエリアの景観資源の特徴を分析しました。具体的には

| | |
|-----------------|----------|
| 時間軸.....昔からあるもの | 最近のもの |
| 生活軸.....暮らし(日常) | もてなし(観光) |
| 人為軸.....自然 人工 | |
| 活動軸.....ソフト(無形) | ハード(有形) |
| 距離軸.....近景 遠景 | |



例 時間軸で整理したところ

それぞれの軸が印刷された模造紙の上に、お互いを比較しながら景観資源カードを並べていきました。(あくまでも相対的な比較で、景観資源の傾向が認識できる程度でかまいません。)

3 気づきの記入

5つの模造紙それぞれの上にトレーシングペーパーをかぶせ、気づいたことを線や文字で記入しました。



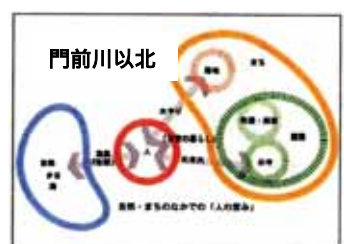
例 トレ'をかぶせ気づきを記入したところ

4 まとめ

5つの軸で分析した結果を見比べて、そこから見えてくる景観の特徴を模造紙1枚にまとめました。

まとめ方は各グループに任せました。

例えば 箇条書きにする(文章であらわす)、
模式図に表す。



例 模式図にした例

1 班

門前川以北地域



振り返り・景観資源を思い出すために景観歳時記を用意しました。



時間軸・生活軸・人為軸・活動軸・距離軸の5つの軸に振り分ける作業をしました。



5つの軸から特徴付けられること

横山地区が主体となって、観光・景観のテーマ地区である。歴史的建物が半分以上を占めるが、近代的な建物もある。

...清流線・西岩国駅舎
無形としては祭り、鵜飼い等
歴史的な建物...60%

保護し次世代へ
自然なもの...20%

見直し再発見して復活
近代的なもの、無形文化財、祭り
...10%

祭りなど途切れているものを復活させ、継承していくならばよりよい観光地になるであろう。

全体として良好な景観守っていけば、素晴らしいのではないかな。



2 班

門前川以南地区



振り返り・景観資源を思い出すために景観歳時記を用意しました。



時間軸・生活軸・人為軸・活動軸・距離軸の5つの軸に振り分ける作業をしました。



5つの軸から特徴付けられること

昔も今も自然が多い
人と海、人と川、人と山
特に海と川の結びつきが大きい
観光地ではなく、観光地になりうる観光素材が多い この連鎖で渡り鳥や珍しい鳥が多い

田んぼと畑と海と川 山は少ない
瀬戸内海を中心に自然の恵み

自然が多く、そのため安らぎや、癒しを感じる。

観光地になりうる観光素材が多い地域といえるのではないかな。



3班

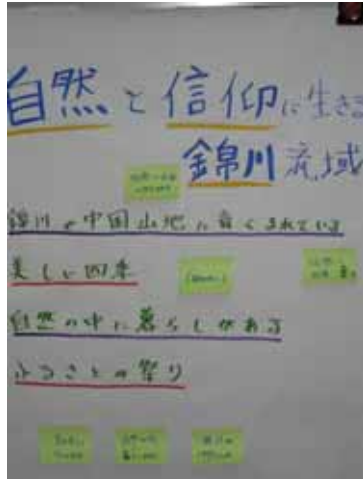
旧市北部・美和地域(前回3班)・美川・錦・本郷地域(前回4班)



振り返り・景観資源を思い出すために景観歳時記を用意しました。



時間軸・生活軸・人為軸・活動軸・距離軸の5つの軸に振り分ける作業をしました。



海がないことより、人々は雲海に海を求め、海を恋しがったのではなかろうか。



5つの軸から特徴付けられること

自然が美しく、いっぱいある
お祭り・お宮の写真が多い
山や谷川など自然の四季が美しく良く守られてきている
山の中だけに「山のごとく」資源がある
海がない

自然がいっぱいのところは生活が厳しいと思われる。そこでお祭り・お宮も多く、人々は信仰の中に安らぎを求め生きたのではなかろうか。

4班

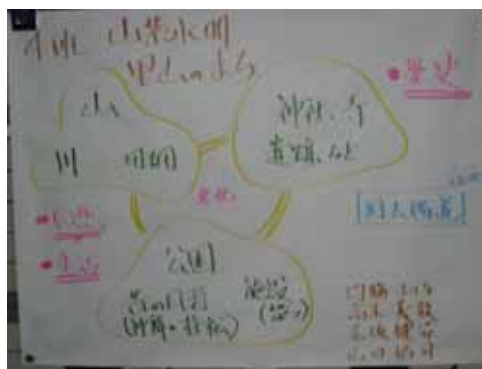
玖珂・周東地域



振り返り・景観資源を思い出すために景観歳時記を用意しました。



時間軸・生活軸・人為軸・活動軸・距離軸の5つの軸に振り分ける作業をしました。



5つの軸から特徴付けられること

山・川・田園などの自然が多い
神社・寺・遺跡など歴史のあるものが多く見られる
昔の慣わし(風習・神楽舞・柱松等)と新しい施設(パストラルホール等)

歴史あり、自然あり...この中で生活しているんだなあ、と実感。

生活の中にも観光的な側面のある盆地ではないかということで、山紫水明里のまちとタイトルをつけました。



ワークショップを終えての感想

山口県産業技術センター 水沼 信さん



非常に大変な作業をしたという感想を持たれたと思います。
独特の景観の特徴が少し見えてきたのかなと。
まだまだ未成長・未発掘・未発見の部分がたくさんあるのではないということも実感したと思います。
これからも身の回りの何気ない風景の中から、これは魅力的な景観となりうるものを発見して、お知らせいただきたいと思います。
そうすることで、景観の取り組みが続いていくと思いますので、よろしくお願いします。

山口県景観アドバイザー 村越千幸子さん



3回にわたってワークショップをやりながら、今日も大変な作業だったと思いますが、どうもご協力有難うございました。
これから少しずつ、皆さんの景観に対する意識が「見る」から「守り、育てる」へと変わってきてくれることを期待しています。
どうもご協力有難うございました。

岩国市景観展開催についてのお知らせとお願い



岩国市 山中室長さん

昨年末から3回ワークショップを行いました。市内のすばらしい景観をこれから守り育てる、又は創っていく中で、この3回の作業は準備段階でしかありません。

これからどんなことをしながら、どんな考え方をして守っていくのか、どのようにして伝えていくのかということ、考えていかなくてはなりません。

その中で平成20年度も引き続き皆様のご協力をいただきながら、景観について考えていきたいと思っております。

たくさんの資源を集めていただきましたので、多くの市民の方にも知ってもらうため、「岩国市景観展」を開催しようと考えております。

この「岩国市景観展」は、岩国市が景観行政団体になって6月1日で1年を迎えることもあり、市民の皆さんに景観についての取り組みをお知らせするという形で開催したいと思っております。

また、景観展の開催につきましても、景観ウォッチャーの皆さんのご協力、お手伝いをお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。